

平成26年度 スーパーグローバル大学等事業 スーパーグローバル大学創成支援
審査結果表

大学名	京都大学	申請区分	タイプA
構想名	京都大学ジャパンゲートウェイ構想		

〔評価コメント〕

本構想は、貴学の卓越した研究・教育拠点を中核としながら、既に出来上がっている教員間のネットワークを活かし、更に学部学生から教職員まで全てを含む全学一体で取り組む計画となっている点が高く評価できる。

研究は国際的に高い水準にあるので、教育の水準を高める戦略として、京都大学インターナショナルカレッジ運営機構（International College of Kyoto University、i-CoKU、アイコーク）を設置し、これまでの優れた国際競争力のある分野を軸に、国際共同教育プログラム・国際共同学位プログラムを実施することは、高い目的を持った学生の育成、海外の優秀な教員との協働による優れた若手研究者の育成、新しい研究分野の開発、国際共著論文比率の向上につながることを期待できる。

また、本構想は、学部・言語教育改革、入試改革、外国人教員・国際教育アドミニストレーターの雇用、ガバナンス改革等、様々な大変革が必要であるが、成果指標と達成目標を定量的及び定性的に分類して対策を講じていることは、実現可能性が高い。

一方で、本構想の運営は、関係担当理事・副学長を中心とした体制となっているように見受けられるため、総長のトップダウン型のリーダーシップが求められるとともに、外国人教員等割合の向上、シラバスの英語化、意思決定機関等への外国人の参画について、積極的に取り組む必要がある。

最後に、今回「スーパーグローバル大学創成支援」に採択された貴学におかれては、10年後の大学の姿を見据え、徹底した「大学改革」と「国際化」を断行し、我が国の高等教育の国際競争力の向上に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。